



その時までは 普通の高校球児だった…

福岡県南部の強豪・八女北高校野球部。チーム内での熾烈なポジション争いを繰り広げながら、春の選抜甲子園出場を目指し日夜猛練習に励んでいた。だが、まさかの敗退に、チーム内はギクシャクし始めていた。そんな折り、エースの望月ら中心選手は突然、監督から演劇部に参加するよう命令される。反発する

野球部員たち。一方の演劇部でも野球部員の突然の参加に不満が爆発する。課せられた舞台の演目はボクシングのチャンピオンを目指す若者の物語り。厳しい演技指導に戸惑う望月たち。夏の甲子園予選突破に向けて練習に専念したい彼らだったが、あることがきっかけで、先輩たちが経験した哀しい傷跡を知ることになる。

若者の心を描いた感動の実話!

竹島由美子の実話原作をもとに構想10年、ベテラン中山節夫監督がメガフォンを取り、ついに待望の映画化。いまを生きる若者の心に沸き上がる不安、希望、熱い思い、そんな彼らを精一杯理解して応援している大人たちとの絆を、瑞々しい映像で描いている。

主演の望月には渡辺佑太朗が抜擢され、高校生役を体当たりの演技で熱演。その他、舟津大地、川籠石駿平、柴田杏花など、明日の映画界を担う若手のホープが勢揃い。加えて林遣都、宇梶剛士、宮崎美子らの芸達者たちがガッチリと脇を固め、観る者に感動を呼ぶ青春のメッセージを伝えている。

佐藤忠男さん (日本映画大学名誉学長)

良い映画だ この映画を見ていると私の青春をまざまざと思い出す。いつも夢を見、しかし不安であり、自分と違う美点を持つ友を探し求めている。自分が今日あるのは、あの年頃、自分とは違う良さを持った友を、仲間を、先輩を、

教師を積極的に探し求めたからであると思う。中山監督はこういう確実に若者たちの役に立つ地道な映画をこつこつと創り続けてきた人である。この作品など、その長年の経験が映画の艶になって輝いている。とくにこんどは青春というものが持つ気負いと、それに伴う恥じらいとが良いバランスで表現されていて、すがすがしいほどだ。



2018年 7月1日 | 日 | 開場 14:00
開演 14:30
入間市産業文化センター

- 共催 映画「野球部員、演劇の舞台に立つ!」を応援する会・(公財)入間市振興公社
- 後援 入間市教育委員会 入間市社会福祉協議会 入間市商工会 入間市工業会
入間ロータリークラブ 入間南ロータリークラブ 入間ライオンズクラブ
入間青年会議所 入間市倫理法人会 入間ケーブルテレビ(株) (株)エフエム茶笛
入間都市開発(株) 入間市野球連盟

入場料 1,100円 (税込み・全席自由)

チケット取扱・お問い合わせ

2018年5月12日(土) 10:00から一般販売

●入間市産業文化センター
TEL 04-2964-8377

(窓口 8:30~19:30/祝日を除く(月曜日休館))